

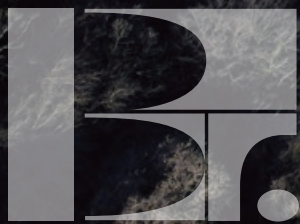
# Br. Holdings Report



## 第22期 年次報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード：1726



大浜第2高架橋 島根県浜田市・益田市(三隅・益田道路)



株式会社 ビーアールホールディングス

Br.Holdings

# 株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ第22期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)を終了しましたので、その事業活動の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長

藤田 公康



## 当期成績および今後の見通しについて

当連結会計年度におけるグループ全体の受注高は、北海道新幹線の軌道スラブ製作運搬および新設橋りょう工事等の大型受注がありましたが、期中に予定していた大型案件の契約が翌期へずれ込む等、35,793百万円と前年同期(40,297百万円)を11.2%下回りました。一方売上高は、前年から繰り越した大型工事の進捗率が伸び、40,259百万円と前年同期(36,022百万円)から11.8%増加し過去最高となりました。営業利益は大型工事の設計変更獲得による利益計上があり、2,062百万円と前年同期(1,636百万円)から26.0%増加、経常利益は2,036百万円と前年同期(1,624百万円)から25.3%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益も1,353百万円と前年同期(1,025百万円)から31.9%増加した結果となりました。

今後の事業環境見通しにつきましては、新設橋りょう事業においては、社会インフラの整備が概ね進み、計画路線の逐次完成に伴う新設PC橋りょうの発注は減少が予測される一方、高速道路のミッシングリンク解消や4車線化計画等も進捗する事から一定の発注量を想定しています。また補修・補強事業においては、既存の社会インフラの老朽化による補修や、国土強靱化政策に伴い各高速道路社が進める「高速道路リニューアルプロジェクト」による補修・補強工事の需要が増えています。

このような事業環境の中、当社グループの翌期期首手持工事高は43,615百万円となりました。高速道路のPC床版取替工事や4車線化工事等の長期大型工事の比率が増加するなかで、次期連結業績につきましては、売上高は過去最高の42,000百万円、営業利益は2,400百万円、経常利益は2,350百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,550百万円を見込んでおります。

当社グループといたしましては、引き続き高速道路の大規模更新・修繕工事、北海道新幹線をはじめとし

た鉄道関連の大型プロジェクトなどに積極的に参入し、生産性の向上、働き方改革の推進を図り、国土強靱化政策に対応する組織体制の構築と競争力の確保を目指してまいります。

## 自己株式の取得

当社は株主還元および資本政策の一環として、市場環境と資本の状況を見ながら、機動的に自己株式取得を実施する方針としております。この方針を踏まえ、2023年11月から2024年3月にかけて、自己株式の取得(1,000,000株)を行い、株主還元および資本効率の向上を図りました。

## 統合報告書の発行

2022年4月に東証一部からプライム市場に移行した当社は、資本市場における責任を積極的に果たし、企業価値を高めるため、同年からマテリアリティの特定に着手し、理念体系の策定、統合報告書の発行に至りました。

本報告書を株主・投資家をはじめ、お客さま、取引先、従業員など様々なステークホルダーの皆様へ、当社グループの価値創造の現在、将来の姿を正しくご理解、ご評価いただくためのコミュニケーションツールとして活用していきます。これからの社会がどのように変化していくかを見据え、その社会における貢献とは何かを考え、持続的な社会の実現に向け、事業を通じた継続的な社会への価値提供と当社グループの企業価値の向上を目指してまいります。

## 気候変動への取り組み

地球環境を巡る課題の中でも気候変動と資源循環は、建設業界にとって最も重要な取り組むべき課題と認識しています。当社グループでは2030年を目標と

するSDGsを前提とし、2050年のカーボンニュートラル実現に向けてCO<sub>2</sub>排出量の多いセメントの代替材料の利用促進や環境にも配慮した独自技術の採用により環境配慮型社会実現へ取り組んでいます。

当社グループは、TCFD(「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」)に賛同し、推奨される「ガバナンス」「戦略」「リスクマネジメント」「指標と目標」の項目に沿って情報を開示しております。2021年よりGHG排出量を算出しておりますが、現在、算定の再評価、分析、2050年カーボンニュートラルに向けた検討をさらに進め、2024年度には具体的な目標を設定する予定としております。

## つなげる 人を、技術を、未来へ

私たちは創業以来、人材を育み、技術を培い、交通インフラの建設によって社会に貢献してきました。当社グループとしてどのように成長し、企業価値を高めたいくべきかを考え、2030年のビジョンを策定しました。

Br:HD VISION2030「インフラ整備を通じて社会に貢献し、持続的に成長する企業グループ」

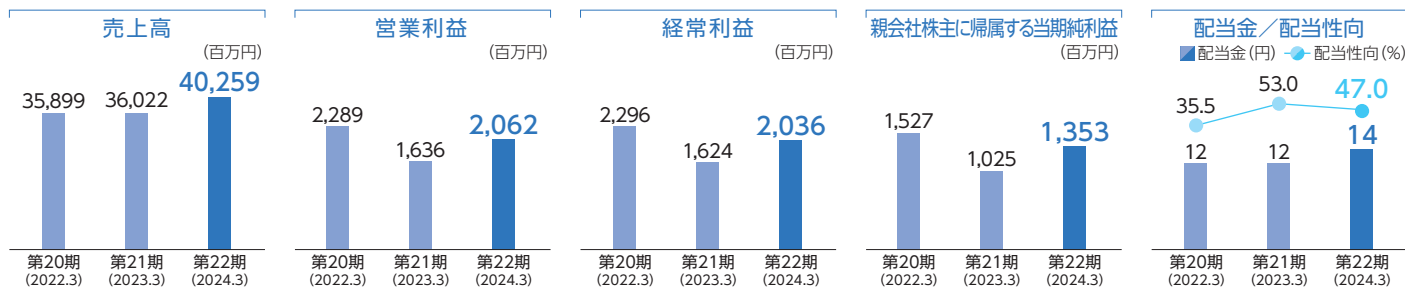
これは、当社グループがどのような社会インフラをつくり、将来世代につないでいくことで課題解決に貢献するか、その姿を示したものです。具体的な施策については、中期経営計画において現在検討しているところです。

これからも「人」と「技術」を事業の中核として、より豊かで快適な暮らしの実現に挑戦し続けます。

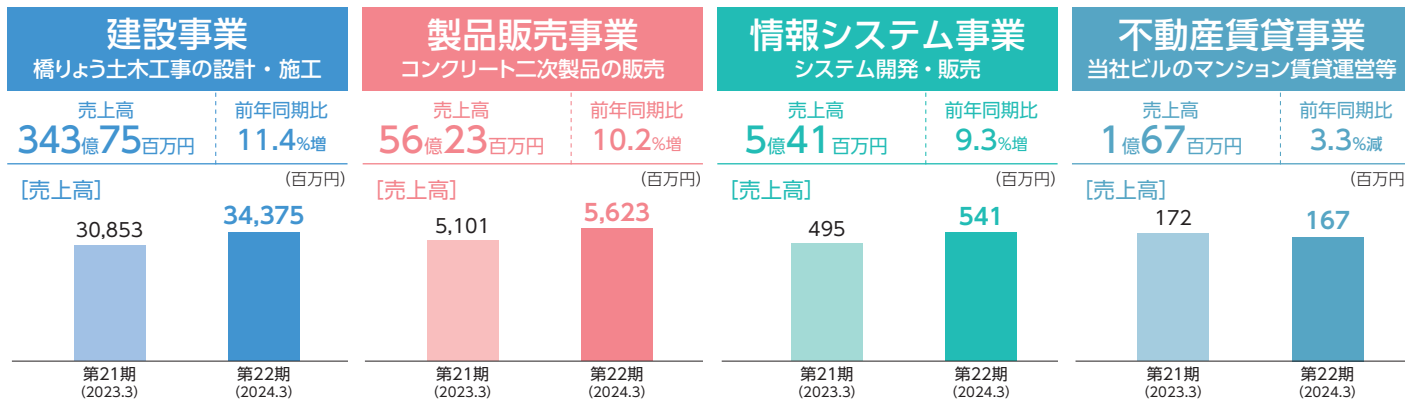
今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、環境対策や技術開発を積極的に推進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

## 連結財務ハイライト



## セグメント別の概況



(注) セグメント間取引を含めております。

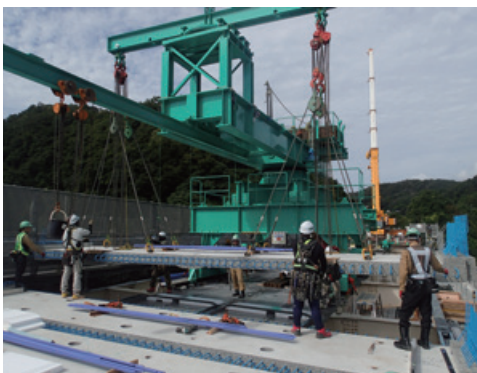


## TOPICS 1

[極東興和株式会社]

### 江の川第三橋他1橋床版取替工事 広島県三次市、安芸高田市

本工事は高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)のうち西日本高速道路株式会社発注の工事として、中国自動車道三次IC～高田IC間に架橋されている、計6橋の橋りょう補修工事を2020年6月から2023年8月にかけて実施しました。



## TOPICS 2

[極東興和株式会社]

### 三重神殿線1号橋 大分県豊後大野市

本工事は、三重新殿線バイパス道路として中九州横断道路と豊後大野市中心部(全長約10km)を結ぶ事業の最後の区間である同市三重町百枝～千歳町前田間に架橋した工事です。

地域交流の一環として、地元小学生が書いた橋名の文字をもとにして作ったブロンズ製の銘板を設置する「銘板設置式」を実施いたしました。銘板の裏には子どもたちの「将来の夢」などのメッセージが書かれています。



## TOPICS 3

[東日本コンクリート株式会社]

### R4・5国道17号上武道路荒砥川橋上部工事 群馬県前橋市

本工事は関東地方整備局 高崎河川国道事務所発注の国道17号上武道路の渋滞緩和を目的とした4車線化工事です。

橋桁を現地で製作し架設する工法で、国道に隣接する現場は安全面・施工面ともに多くの制限・配慮が求められる非常に難易度の高い工事でした。地域住民の早期完成の期待にも応えることができ、地域貢献に一役買った事業となりました。



## TOPICS 4

[極東興和株式会社]

### 当社独自技術による橋りょう維持(補助)工事 福島県喜多方市

本工事は基礎に変状が生じた既設スノーシェッドのマイクロパイル工法(当社独自技術)による補強工事です。

天井までの高さが4.4m程度の既設シェッド内に杭を設置する厳しい条件下での施工でしたが、通行止めを行うことなく常に一車線の交通を確保した状態で施工しました。





## 「人と人」「技術と技術」の橋渡し

当社グループはパブリックカンパニーとして地域に根差した活動を大切にしています。

地元の子どもたちによる橋面お絵描き大会から高校生・大学生を対象とした見学会や体験学習まで、様々なイベントを通じて地域への関心・建設業への興味を深めてもらえるよう日々活動しています。

### 現場見学会の開催

#### ■ お絵描き大会の開催

極東興和株式会社



大浜第2高架橋では山陰道学習啓発活動の一環として、約1ヶ月間で地元の小学校4校の出前講座および現場見学会・お絵描き大会を行いました。

今後も当社や橋りょうへの興味関心を持っていただくためのイベントや活動を継続していききたいと思います。

#### ■ 旧橋撤去工事の様子

東日本コンクリート株式会社



仙台市青葉区の温泉地として知られる作並に架かる湯渡戸橋は供用開始から約70年経過した橋で、経年劣化による橋の損傷が大きく、架設桁による吊り下げ支持方法で撤去を行いました。

小学生を対象とした見学会では建設機械(クレーン、バックホウ)の運転席への乗車体験の実施や、高校生を対象とした座学では資料等では分かりづらい部分の模型を利用した撤去方法の再現など、理解を深めてもらえる工夫をしています。

当現場見学会でも多くの方に参加していただくことができました。こうした活動により建設産業の未来の担い手の確保・育成につながることを願っています。

#### 表紙写真について

#### 大浜第2高架橋 (浜田市・益田市)

大浜第2高架橋が架かる三隅・益田道路の開通は、急カーブや起伏の激しい地域唯一の主要幹線道路の代替路線としての役割に加え、医療施設へのアクセス向上や地域経済の活性化が期待されます。(2025年度開通予定)



# 統合報告書2023を発行しました。

2022年4月、東証一部からプライム市場に移行した当社は、資本市場における責任を積極的に果たすべく、マテリアリティの特定、社会的な価値創造への取組を示し、企業価値向上に努めています。このたび、当社への理解をより深めていただくため、統合報告書を発行いたしましたのでお知らせいたします。

「統合報告書2023」はこちらからご覧いただけます。

<https://www.brhd.co.jp/ja/ir/library/integratedreport.html>



掲載内容の一部をご紹介します。

## Br.HDについて

現在に至るまでの当社グループの歩み、日本の社会インフラを支える事業展開や強みについてご紹介しています。



## 価値創造の要

代表取締役 藤田 公康の経営に対する想いを発信するトップメッセージをはじめ、事業を通じ継続的な価値を提供すべく価値創造プロセスなどを掲載しています。



## 企業価値向上のためのマテリアリティ

事業を通じて、持続的な社会の実現に向け社会貢献をする当社グループのマテリアリティ(重要課題)についてご紹介します。





## 会社概要

(2024年3月31日現在)

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | 株式会社 ビーアールホールディングス<br>Br.Holdings Corporation |
| 設立    | 2002年9月27日                                    |
| 本社所在地 | 広島市東区光町二丁目6番31号                               |
| 電話    | 082-261-2860(代表)                              |
| 資本金   | 4,813,847,000円                                |
| 決算期   | 3月31日   |
| 従業員数  | 12名(連結617名)                                   |

## 代表者及び役員

(2024年6月18日現在)

|               |         |
|---------------|---------|
| 代表取締役社長       | 藤田 公 康  |
| 取締役           | 石 井 一 生 |
| 取締役           | 山 根 隆 志 |
| 取締役           | 天 津 武 史 |
| 取締役           | 末 竹 一 春 |
| 取締役・常勤監査等委員   | 山 縣 修   |
| 取締役・監査等委員(社外) | 小 田 清 和 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 佐 上 芳 春 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 三 浦 房 紀 |

## 株式の状況

(2024年3月31日現在)

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 120,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 45,795,000株  |
| 株主数      | 48,333名      |

### 大株主(上位10名)

| 株主名                 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社  | 4,837   | 10.82   |
| トウショウアセットマネジメント株式会社 | 4,020   | 8.99    |
| 藤田公康                | 1,791   | 4.00    |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)  | 1,042   | 2.33    |
| ビーアールグループ社員持株会      | 1,005   | 2.25    |
| 広成建設株式会社            | 988     | 2.21    |
| ビーアールグループ取引先持株会広島支部 | 920     | 2.05    |
| 株式会社三菱UFJ銀行         | 800     | 1.79    |
| トウショウ産業株式会社         | 690     | 1.54    |
| ビーアールグループ取引先持株会大阪支部 | 674     | 1.50    |

(注)持株比率は自己株式(1,104千株)を控除して計算しております。

## グループの概況

(2024年3月31日現在)

### 極東興和株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/PC構造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

### 東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市  
事業内容/PC構造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

### キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/PC製品及びコンクリート二次製品の設計・製造・販売・施工等

### ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/ソフトウェアの設計・開発及び販売等

### 豊工業株式会社

本社所在地/大分市  
事業内容/PC及びコンクリート二次製品の製造・販売等



株式会社  
ビーアール  
ホールディングス



株式会社 ビーアールホールディングス

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861  
ホームページ <https://www.brhd.co.jp/> (IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからご覧ください。)

## 株主メモ

|                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 事業年度                       | 4月1日～翌年3月31日  |
| 期末配当金<br>受領株主確定日           | 3月31日         |
| 中間配当金<br>受領株主確定日           | 9月30日         |
| 定時株主総会                     | 毎年6月          |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777(通話料無料)

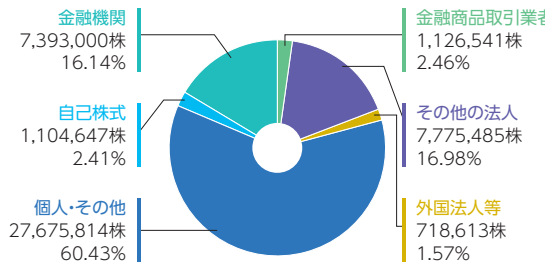
上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場)

電子公告により行う。  
当社ホームページ(<https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html>)にて掲載。  
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 株式分布状況

(2024年3月31日現在)

### [所有者別株式分布状況]



### [地域別株式分布状況]

